

晩秋の稀府岳

日程：平成25年11月23日（日）
 参加者：17名（男性、9名、女性、8名）
 行程：黄金入りローソン；7時50分、
 登山口発；8時32分、260m 廃屋；9時00分、
 お尻愛の枝；9時35分、ガマ岩；10時05分
 頂上（702m）；10時40分、発；11時0分
 登山口帰着；12時32分

黄金入り口のローソンに分乗して集合、4台で登山口に向かう。2名と合流、今日は嶺友会のめんばん10数人も登るとの事。込み合い相、準備体操後、A班を先頭に登山開始。 廃屋跡で一休み



木々の葉は殆ど落ち、見通しが良い。瘤ナシを捜したが見当たらない、少しガッカリ。

傾斜地滑るぞ、慎重に、 お尻愛の腰かけ枝



今日の予報は晴れだが、日差しが無いので寒い、重ね着・冬用帽子・手袋で防寒対処。登りは何時もキツイ尾根に出ると見通しが良い。 三つの大岩



大岩（ガマ岩）

ここで大休止



展望が良い、伊達市街を一望



これからいくつものピークを越えないと頂上は見えない、一山越えて三山の奥に。 2ショット



前衛峰の登り、 少しキツイ登り



ゆったりペースで登った為登りに2時間10分近くも掛り、10時40分に到着。

稀府岳（702m）の頂上



帰りはブドウ、コクワ、珍しいふきのとう等采取しながら、登山口に12時32分に帰着。お疲れさん。ここで3人と別れ、弄月温泉にて昼食・入浴しローソンで解散、それぞれ帰途に就く。まずまずの天候に恵まれ、晩秋の一日を過ごした。仲間に感謝。記：近藤